

重要 線源棒の紛失・盗難防止のための厳守事項

ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社

線源棒の紛失・盗難に伴う影響

紛失・盗難が起きた場合、法令上の義務から各関係機関等への速やかな報告が必要です。また、過去の事例では、工事中断（発見まで）・測定場所近傍の搜索実施（発見まで）・関係者への聞き取り調査・事件として報道の対象になり、長期間にわたる工事の遅れ、社会的責任の追及など重大な事態に繋がります。

以下に記載いたしました5項目の内容を厳守していただき、線源棒の紛失・盗難防止に努めていただきますようお願いいたします。

1. 管理者の選任

RI 計器を使用するにあたって、管理者を選任してください。

管理者は安全に配慮し、法令を遵守するとともに線源の取扱いに関する内容を熟知し、保管・使用・運搬について以下の項目を厳守して、関係者の意識強化に努めてください。

なお、管理者と使用者が異なる場合は、管理者は使用者に RI 計器の取扱いおよび紛失・盗難に関する教育指導を徹底してください。

2. 保管に関する厳守事項

RI 計器の線源棒を保管する場所は、人があまり出入りせず施錠ができる場所を選び、厳重に管理してください。

- 始業時および終業時に、線源棒の有無を確認してください。
- 毎日の始業時に、必ず線源棒が線源コンテナに収納されていることを確認してください。

始業時に線源棒が線源コンテナに収納されていることを確認する理由は、保管中に盗難にあっていないかを確認するためです。また、線源棒を収納する時にも、毎回線源棒の確認を行ってください。収納忘れ、持ち運びの際の落下等による紛失の有無確認のためです。指差呼称して線源棒の存在を確認してください。



線源棒収納確認、
よし！



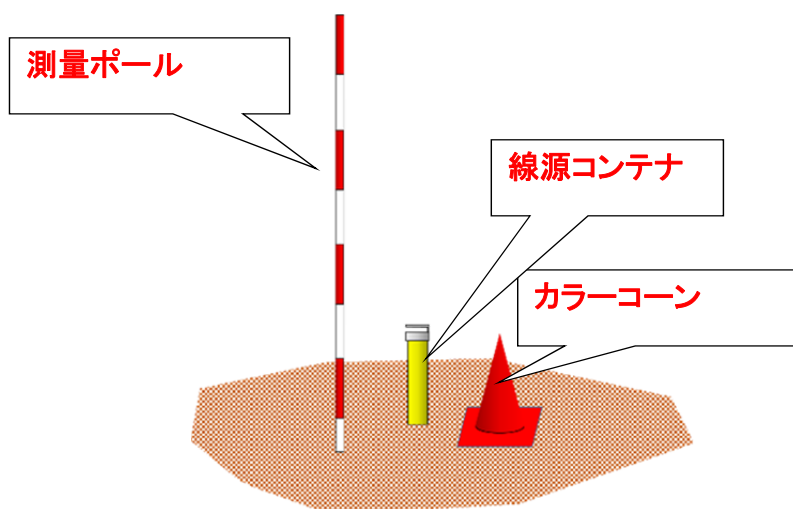
線源棒を保管する建屋又はロッカー、部屋等には必ず施錠を行い、部外者の侵入・盗難を防止してください。

3.使用に関する厳守事項

BG 測定時は、RI 計器から線源棒を取り外して本体から所定の離隔（20m 以上）をとる必要があります、このとき線源棒を見失う危険があります。線源棒の傍に目印となるものを置き、使用者および現場内の他の作業員から容易に視認できるようにしてください。

現場 BG 計測は標準 BG 計測と異なり、現場施工箇所内での測定作業となるため、線源棒を 20m 以上隔離した際に重機に踏まれたり、線源棒や線源コンテナに土砂を被せられたりして所在不明となる恐れがあります。したがって、線源棒隔離時の位置表示がより重要となります。以下に対策例を示しますので参考にしてください。

- カラーコーンを線源コンテナ（線源棒格納筒）の傍らに置いて、その位置を明示する。
- 測量用のポールを線源コンテナの傍に立てて、その位置を明示する。



4.運搬に関する厳守事項

線源棒は線源コンテナに格納し、運搬してください。

作業終了後に計測機器を撤収し、収納場所へ持ち運び、保管する際は、線源棒を忘れないようにしてください。また、車両への積込みの状態が悪く、車両から線源棒が落下しないよう注意してください。



5.チェックシートの活用

線源棒の紛失・盗難を防止するため、管理者は RI 計器に付属のチェックシートを用いて線源棒の使用状況を日々確認してください。

以上、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。